

TAKE FREE

八代の民俗芸能・祭りを知るなかこの1枚!

DENDEN PRESS

1

2026
January
No. 49



※「妙見宮祭礼絵巻（白描）」に描かれた馬たち

笠鉢スタンプ

~1/17(土)



1/25(日)

~2/21(土)



さあ、ここまでで14頭。残り2頭はどんな馬かな? 展示室で確認してみてね。待つててよ。

そして飾馬。松井家臣や八代郡から出されたんだけど、昔は12頭と決まっていたようだよ。それは1年が12か月だから。実は旧暦の頃は数年おきに閏月があつて13か月の年もあつたんだ。その時は13頭出たそuddよ。行列の最後の流鏑馬の馬もあるね。

妙見祭の馬と言つたらみんなはどんな馬を思い浮かべるかな? 約200年前の絵巻には、全部で16頭の馬が描かれているよ。まずは神馬。神さまのための馬だね。江戸時代、松井直之が永代寄進したんだって。これは馬だけじゃなくて馬のエサ代や世話をする人の給料なんかも含まれているんだよ。すごい。

お宝ギャラリー
～令和8年 4月 5日(日)～
お宝ギャラリーでは妙見祭の馬について紹介する展示をしているよ。
妙見祭の馬と言つたらみんなはどんな馬を思い浮かべるかな? 約200年前の絵巻には、全部で16頭の馬が描かれているよ。まずは神馬。神さまのための馬だね。江戸時代、松井直之が永代寄進したんだって。これは馬だけじゃなくて馬のエサ代や世話をする人の給料なんかも含まれているんだよ。すごい。

妙見祭の馬

～令和8年 4月 5日(日)～



さしょりきてみらんね 冬の一日本体験 DAY！

令和8年2月1日(日) 9時30分～15時



今年もお祭りでんでん館を会場に、民俗芸能の魅力たっぷりのイベントを開催するわ！今年は「八代の神樂祭り」と題して、市内の神樂について知る事ができる機会だからチェックしてね♪

○特別講演会

9時20分開場 9時30分開始（会議室）



まつりちゃん

狩獵文化と信仰について研究をされる宮崎大学講師の鈴木良幸先生をお呼びして、「九州山地の狩獵文化と信仰」という題目でお話ししてもらうわよ。宮崎県内の神樂の中には、狩獵文化と関係が強いものもあるからお話が今からとても楽しみなよね♪神樂は見て楽しむだけじゃなくて、どういふものかを知つてから見るとより一層楽しめるわよ♪先着50名、途中入退場はできないから気を付けてね！

○神楽公演会

10時30分開場 10時40分開始（伝承ルーム）



貝洲加藤神社
肥後神楽

木神楽の全体のリズムを合わせる大切な楽器なの。神樂鈴は、神様を呼んだり、場を清めたりする力があると考えられる道具よ。みんなは葉木神楽のリズムをマスターできるかしら？保存会の方も来てくれるから、いろんなお話を聞いてみてね！それから、スタッフ手作りの神樂パズルもあるから、挑戦してね。

今年もお祭りでんでん館を会場に、民俗芸能の魅力たっぷりのイベントを開催するわ！今年は「八代の神樂祭り」と題して、市内の神樂について知る事ができる機会だからチェックしてね♪



向山日添神楽



○神楽体験

12時～13時（エントランスホール）

イベントでは、神楽を学んで見るだけじゃなくて、体験もできるのよ！泉町五家荘に協力して、もちろん太鼓と、神樂鈴に触れるわ♪太鼓は葉木地区に伝承される葉木神楽保存会で使用される太鼓と、神樂鈴に触れるわ♪太鼓は葉木神楽の全体のリズムを合わせる大切な楽器なの。神樂鈴は、神様を呼んだり、場を清めたりする力があると考えられる道具よ。みんなは葉木神楽のリズムをマスターできるかしら？保存会の方も来てくれるから、いろんなお話を聞いてみてね！それから、スタッフ手作りの神樂パズルもあるから、挑戦してね。

○市内の民俗文化財紹介

9時30分～15時（エントランスホール）

神樂以外の魅力いっぱいな民俗芸能や

お祭り行事について紹介しているコーナーよー今回は、新しくPRパネルもあるから、見にきてね♪また、スペースには、実際に継承活動を行っている保存会の方々もいるから、お話をすると特別な情報が手に入るかもしないわよ♪その他にも、来場プレゼントや餅投げ、キッキンカーなどがたくさん集まるぽかぽかマルシェもあるのよーぜひ広報やつしろ1月号やHP、チラシをチェックしてちょうどいい♪

かぐらちゃんの「でんでんつれづれ日記⑩」 神楽満載の秋～冬

イベントづくしだった数か月と急な冷え込みでみなさん体調は崩していませんか？

今回は、市内の神楽の奉納にお邪魔した話をしますね。今年は残念ながら行けなかった神楽もありますが、11月～12月頭に奉納があった本屋敷神楽と、葉木神楽、岩奥神楽にお邪魔させていただきました♪

神楽は、その地域の神様に奉納する目的で行われてきた芸能なだけに、現地での奉納は厳粛な雰囲気も強まりカッコ良かったです！

そして、神楽を担う方々だけでなく、地域の皆さんも参列して神楽を見守り、神事の後は直会をするなど地域の交流が行われている様子に、民俗芸能が、その土地の生活に密接するものだと改めて感じさせられました。2月のイベントで市内の神楽に興味を持たれたら、次は現地の奉納を見て感動してほしいですね(*'艸')

岩奥神楽

